

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】令和7年4月16日(2025.4.16)

【国際公開番号】WO2024/024488

【出願番号】特願2024-536937(P2024-536937)

【国際特許分類】

B 2 3 B 2 9 / 0 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

B 2 3 B 2 9 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

【 F I 】

B 2 3 B 2 9 / 0 4 A

B 2 3 B 2 9 / 0 0 C

10

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月15日(2025.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基準軸に沿って第1端から第2端にかけて延びた棒形状であって、前記第1端の側に位置する第1部材と、該第1部材よりも前記第2端の側に位置する第2部材と、を有し、

前記第1部材は、

前記第1端の側に位置する第1端面と、

前記第2端の側に位置する第2端面と、

前記第1端面及び前記第2端面の間に位置する第1上面と、

該第1上面の反対側に位置する第1下面と、

前記第1上面及び前記第1下面の間に位置する第1横面と、

30

前記第2端面から前記第2端の側に向かって延びた突起部と、

前記第1端の側に位置して、前記第1端面、前記第1上面及び前記第1横面にかけて開口しているポケットと、を有し、

前記第2部材は、

前記第1端の側に位置して、前記第2端面に対向している第3端面と、

前記突起部が挿入された穴部と、を有し、

前記第2端面は、

前記第2端の側に向かって延びた第1凸部を有し、

前記第1凸部は、

前記第2端の側を向く第1先端面と、

40

該第1先端面に接続される第1外側面と、を有し、

前記第3端面は、

前記第2端に向かって窪んだ第1凹部を有し、

前記第1凹部は、

前記第1先端面と対向する第1底面と、

前記第1外側面と対向する第1内側面と、を有し、

前記第1外側面は、前記第1下面の側を向き、且つ、前記第1内側面に向かって突出した凸曲面形状の第1外領域を有し、

前記第1内側面は、前記第1外領域と当接する第1内領域を有する、ホルダ。

【請求項2】

50

前記第 1 凸部は、第 2 端面において、第 1 上面の側に位置している、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 3】

前記第 1 内領域は、平面形状である、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 4】

前記第 1 外領域と前記第 1 内領域との接点を第 1 接点としたとき、

前記第 1 上面と平行な方向において、前記第 1 接点から前記第 1 外領域における前記第 1 横面に近い側の端部までの間隔は、前記第 1 接点から前記第 1 外領域における前記第 1 横面から離れた側の端部までの間隔よりも小さい、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 5】

前記第 1 上面と平行な方向において、

前記第 1 外領域は、前記突起部と前記第 1 横面の間に位置する、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 6】

前記第 1 外側面は、

前記第 1 横面の反対側を向いている平面形状の第 2 外領域をさらに有し、

前記第 1 内側面は、

前記第 2 外領域に対向する平面形状の第 2 内領域をさらに有する、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 7】

前記第 2 外領域は、前記第 2 内領域と面接触する、請求項 6 に記載のホルダ。

【請求項 8】

前記第 1 部材を前記第 2 部材に固定する固定具を更に有し、

前記突起部は、前記固定具が挿入される第 1 穴を有し、

前記穴部は、前記固定具が挿入される第 2 穴を有し、

前記第 2 穴の中心軸は、前記第 1 穴の中心軸よりも前記第 2 端の側に位置し、且つ、前記第 1 上面の側に位置する、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 9】

前記第 2 端の側から前記第 1 部材を見た場合において、前記突起部の中心軸は、前記基準軸から離れている、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 10】

前記第 2 端面は、

前記第 1 外側面に接続され、前記第 1 外側面よりも前記第 1 端の側に位置する凹曲面形状の第 1 接続部と、

該第 1 接続部に接続され、前記第 1 接続部よりも前記第 1 端の側に位置し、且つ、前記第 2 端の側を向く平坦面を有する、請求項 1 に記載のホルダ。

【請求項 11】

前記第 2 端面は、

前記第 2 端の側に向かって突出する第 2 凸部をさらに有し、

前記第 2 凸部は、

前記第 2 端の側を向く第 2 先端面と、

該第 2 先端面に接続される第 2 外側面と、有し

前記第 3 端面は、

前記第 2 端の側に向かって窪んだ第 2 凹部をさらに有し、

前記第 2 凹部は

前記第 2 先端面と対向する第 2 先端面と、

前記第 2 外側面と対向する第 2 内側面と、を有し、

前記第 2 外側面は、前記第 1 上面の側を向き、且つ、前記第 2 内側面と離れている第 3 外領域を有し、

前記第 2 内側面は、前記第 3 外領域と対向する平面形状の第 3 内領域を有し、

10	【請求項 5】
20	【請求項 7】
30	【請求項 9】
40	【請求項 11】
50	前記第 2 内側面は、前記第 3 外領域と対向する平面形状の第 3 内領域を有し、

前記第 1 上面と平行な方向において、

前記第 2 内領域の長さは、前記第 3 内領域の長さよりも小さい、請求項 6 に記載のホルダ。

【請求項 1 2】

請求項 1 ~ 1 1 のいずれか 1 項に記載のホルダと、

前記ポケットに位置する切削インサートと、を有する切削工具。

【請求項 1 3】

被削材を回転させる工程と、

回転している前記被削材に請求項 1 2 に記載の切削工具を接触させる工程と、

前記切削工具を前記被削材から離す工程と、を備えた切削加工物の製造方法。

10

20

30

40

50